



まばろしの東京オリンピック
金メダリストの中谷(なかたに)
さんご、今も選手の近藤さん、筑
波大学の真田さん(なだひさじ)
さんのお話をうかがいました。
1936年に、1940年のオ
リンピック場所をどこにするか
めました。その後、東京がこう
ほに出て、オリンピック会場が東
京に決定しました。しかしヨー
ロッパの方々は東京にくるのに18
かかったそうです。ヨー
ロッパの人たちが行く
くのをいやがります。

(小4/S・K記者)



した。そのとき嘉納(かのう)さん
が、「今オリンピックはヨーロッパ
やアメリカでしかやらない。アジ
アは一回もない。ヨーロッパにい
つも日本人は行っている。せめて
1933年に日本は運び
れていました。1933
年5月4日、嘉納さんが亡くな
りました。すると嘉納さんのでは
遅され、1940年のオリン
ピックは日本ではなくなります。
1964年に東京でオリンピッ
クがかいさいされました。このと
き嘉納さんの気もちがよみが
えったのです。

(小4/R・S記者)

10月28日、私たちが参加したのは「BUNKYO 2020カウントダウン」のオリンピック1000日前イベント。この会場で記念講演会とパラスポーツの体験が行われました。

まばろしの東京オリンピック
金メダリストの中谷(なかたに)
さんご、今も選手の近藤さん、筑
波大学の真田さん(なだひさじ)
さんのお話をうかがいました。
1936年に、1940年のオ
リンピック場所をどこにするか
めました。その後、東京がこう
ほに出て、オリンピック会場が東
京に決定しました。しかしヨー
ロッパの方々は東京にくるのに18
かかったそうです。ヨー
ロッパの人たちが行く
くのをいやがります。

(小4/Y・W記者)



嘉納治五郎
[1860年～1938年]

藤田道宣(ふじたみちのぶ)選手のプロフィール

高校生からフェンシングを始め、けがをするまでフェンシングをやっていました。太田選手にすすめられて、2009年から車いすフェンシングを始めた。2010年に国際大会に出場。2020年の東京パラリンピックに呼ばれ、はじめてのパラリンピックになる。(小6/K・A記者)



車いすフェンシングのルールは、ふつうのフェンシングとほぼかわらず、ちがう点は、車いすがゆかに固定されているということです。藤田選手は、カテゴリーA、B、Cの中の「C」という重度の障がいのグループです。だが、「C」のクラスではパラリンピックに出れないため「B」のクラス(Cより障がいがかかる人)と戦おうとしています。(小4/Y・S記者)

パラリンピックにもちゅうもく！ NO LIMITS CHALLENGE

パラ卓球の日本代表の七野(しちの)選手、渡邊(わたなべ)選手が来てくださいました。パラリンピックはオリンピックの1ヶ月後も開催されます。パラリンピックもみんなに広め、みんなで応援したいなど思います。(小4/K・S記者)

わたしが体験で一番楽しかったのは、卓球です。ラリーがちょっとだけついたのがうれしかったです。選手と一緒にやってきたらうな体験になったと思います。(小4/M・O記者)

わたしが体験で一番楽しかったのは、卓球です。ラリーがちょっとだけついたのがうれしかったです。選手と一緒にやってきたらうな体験になったと思います。(小4/Y・A記者)



(2面)つづく

BUNKYO 2020カウントダウン 1000日前イベントに参加しました

10月28日、私たちが参加したのは「BUNKYO 2020カウントダウン」のオリンピック1000日前イベント。この会場で記念講演会とパラスポーツの体験が行われました。

まばろしの東京オリンピック
金メダリストの中谷(なかたに)
さんご、今も選手の近藤さん、筑
波大学の真田さん(なだひさじ)
さんのお話をうかがいました。
1936年に、1940年のオ
リンピック場所をどこにするか
めました。その後、東京がこう
ほに出て、オリンピック会場が東
京に決定しました。しかしヨー
ロッパの方々は東京にくるのに18
かかったそうです。ヨー
ロッパの人たちが行く
くのをいやがります。

(小4/Y・W記者)

講道館での柔道体験

10月28日は講道館(こうどうかん)の創設者(そうせつしゃ)である嘉納治五郎師範(せいはん)の誕生日でもあります。イベントでは、柔道オリンピック史上初の金メダリストの中谷雄英(なかたにたけひで)先生や、リオ大会銅メダリストの近藤亜美(こんどうあみ)選手、組織委員会の真田先生からオリンピックと柔道についてうかがいました。

車いすフェンシングとは

3年後のパラリンピックで
メダルを！

フェンシングとヨーロッパのフランスではじまったきょう
です。剣(けん)で相手のぎん
のりのうをつくと剣(けん)のさき
からの電気でランプがついて1
ポイントになります。15でん先に
入れた方が勝ちです。

でも、足が不自由人はフェン
シングできません。だから車い
すフェンシングが誕生しまし
た。車いすフェンシングを通して
世界の足の不自由な人の心が
ズにやってみたいと思います。

(小4/K・S記者)



車いすフェンシングのようす
(小4/R・H記者撮影)

藤田選手ははやかったです！

（体験してみて）車いすフェン
シングではねつらうつてもた
いへんだった。すごく選手ははや
かったのですごいと思いました
。（小4/R・H記者）

（体験してみて）車いすフェン
シングではねつらうつてもた
いへんだった。すごく選手ははや
かったのですごいと思いました
。（小4/R・H記者）

（体験してみて）車いすフェン
シングではねつらうつてもた
いへんだった。すごく選手ははや
かったのですごいと思いました
。（小4/C・K記者）



宣選手は、外国で試合する人が
もっていても点は入らないから、
多いと言っていた。

（小4/C・K記者）

2面
全日本視覚障害者
柔道大会



3面
WAW! 2017
国際女性会議 & SDGs



め ふ じ ゆう おも が 不 自 由 だ と は 思 え ま せ ん で し た !



(小4/H・K記者撮影)



リオ大会銀メダリスト廣瀬誠(ひろせまこと)
選手にもお話をうかがいました

たくさんの選手が集まりました

11月26日、日本で一番の柔道の大会が講道館(こうどうかん)で開催されました。

この大会には高知県などの遠いところから来た選手やアメリカ合衆国(がっしゅうこく)や韓国(かんこく)から来た選手、東京や神奈川(かながわ)から来た選手などいろいろな選手がいました。

この大会では、日本人の柔道選手たちがよく障害者をもつた選手も出場しています。

選手たちは講道館の道場を出入りするとき、必ず道場に向かっておじぎをします。(中2/H・Y・I記者)

しんばんが道衣を持たせる
目の不自由な人のじゆうどうば

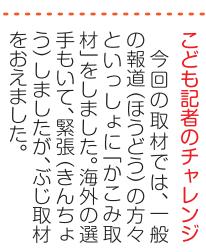
試合時間9秒!!
試合を始める時、ふつうは相手とこまないけど、障害者は相手とくんで始めます。耳がきこえない人はかたを一回たたきます。またのときはねわにねは「ズズゴ!!」と思った試合



子ども記者の質問にていねいに答えてくれた佐々木選手



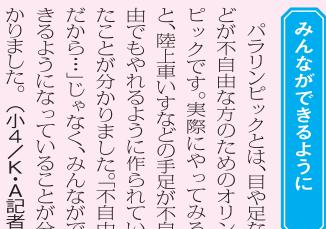
(小4/K・A記者撮影)



廣瀬悠(ひろせはるか)選手と順子(じゅんこ)選手は夫婦でリオ大会に出場!



(小4/R・M記者)



(小4/C・K記者)

みんなができるように

一日分の体力を使う



(小4/K・S記者撮影)

パラスポーツ体験をつうじて
選手の強い思い

手には相手の柔道衣ですれでかたくなったあとが
おさめられるようにかんぱりま
すと話していました。週五日で二
時間半から三時間ほど練習して
いるということです。リオパラ
リンピックでのけいけんをいか
してがんばってほしいと思い
ました。(小5/A・T記者)

目が見えない感じはしない
会場のあん四次は、試合の時は静か
だったけど勝った時は大きな声で
喜んでいました。試合はすごく迫力
があって、こわさは感じられなかった
し、どこに相手がいるのかまよな
かったので、全く自分が見えない感じは
しませんでした。(小4/R・O記者)

佐々木選手にインタビュー

佐々木嘉寧(ささきよしゆき)選手
は目が悪くなる前には、バスケット

ボールをしていたそうです。そして、
20さいで自分が見えない目が悪くて
もスポーツをやりたいと思うなう
です。そして、うちまないうわざを
練習してみると、自分でいざな
ができるようになります。体重
もスリットをやりたいと思ってい
ました。(小4/C・K記者)

こども記者のチャレンジ
今回の取材では、一般
の報道(ほうどつ)の方々
といつしょに「かごみ取
材」をしました。海外の選
手もいて、緊張(きんちよ
う)しましたが、ぶじ取材
をおえました。

(卓球をやってみて、ふつうに
立てるのと、すわってやるの
ではだいぶちがいました。でも、
パラリンピックの選手は上手に
打ち返していました。選手の方
は、障害者(はいしゃ)の方にはできな
いような事ができると思います。
だからこそできるようになりた
い! 手になりたい!」という強
い思いがあるのだと思います。

(小4/Y・T記者)

私は車いすレーサーの体験を
しました。30秒間車輪しゃり
んを回すだけで「一日分の体力を
使うくらいの大変で」とパラリン
ピックの車いすレーサーの選手
はぶつぶつ走るひとり力があ
ると思いました。(小4/K・S記者)

(小4/K・S記者撮影)

車いすレーサーを体験した大
人の人を見てみると、いがいと
タイヤが重く感じてあまりタイ
ヤが回らなかった。と言つてい
て、選手はこんな重く感じるタイ
ヤを何十キロ、何百キロと走るの
で、そつとうでの力、きん肉が
必要なんだなと思いました。(小4/R・M記者)

(小4/R・M記者)

2030年を体験！協力すればなんだつてできる

かんたんではないけど

私は、今回初めてSDGs(エスディージー)ゲームを体験(たいけん)しました。かんきょう、経さい(けいざい)く社会というむずかしい言葉がたくさん出てきて、やり始めたら、自分のゴールに向かうために、どういう工夫をするべきか考えるうちに楽しくなってきました。他の人とも協力してゲームをしました。自分の自



人生ゲーム

SDGsゲームは人生ゲームのようになります。お金時間、やりがい、プロジェクトのカードを使い、自分の目標を達成します。そして、このゲームは協力も必要です。みんなで協力を通じて変わる「経済(けいざい)」「かんきょう」「社会」をやりくりしていきます。私はこのゲームで、みんなと協力する大切さを学びました。チームになってやることで、お金や時間もかかるやす

SDGsゲームは人生ゲームのようになります。お金時間、やりがい、かんきょう、社会のことをつなげます。(小4/M・O記者)



『SDGs』とは…

2015年9月の国連(こくれん)サミットで採択(さいとう)された、2030年までの国際目標です。17の目標と169のターゲットがあげられています。SDGs(Sustainable Development Goals:持続(じぞく)可能な開発目標)



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 世界を変えるための17の目標



文京区はSDGsを支援(しえん)しています。

「時間が足りない！」
SDGsを体験してみて、「けいざいやかんきょうや社会のことが少しずつわからってきました。いくら、けいざいのパロメーターが19や20などでもかんきょうが3とかだと、バランスが悪いなどうまく分けなければならなかったのがむずかしかったです。そして「お金が足りない」というのは少なく「時間が足りない」といふことです。現実では、社会としてチームになっています。

(小4/R・O記者)

意味も分かるようになってきました。2030年までにかんきょう、経ざい、社会の言葉の力によって実げんできるのではないかと思いました。

(小4/R・O記者)

世界には、2030年までに達成する!!と決定した目標がある。それは17つの目標だ。そのゲーム(SDGs)を実際に遊んでみました。お金を大事にする主義(しゅぎ)なので、ともかくお金をためました。パロメーターは「けいざい」は順調(じゅんちょう)にのびています。みんなで「かんきょう」と「社会を上げよう」として協力してパロメーターをあげました。

このゲームでわかったことは、「みんなが協力しないと良い世界はつくれない」ということです。はじめのころは「自分の目標を達成しよう」ということにみんなが集まっています。みんなで「かんきょう」と「社会を上げよう」として協力をすると、目標をたっせいに達成できたりしてもマグネット環境・経済・社会が集まっているから、バランスが取れていないといけないことが分かりました。むずかしい！(小4/A・O記者)

足りない！」という方が多くて、おじいさんたちだけしかのびませんでしたが、協力すればなんだつてのびなってきました。世界をよくするためには、「協力」が必要だと思いました。

(小4/H・S記者)

世界には、国々が2030年までに目標をたて取り組んでいます。実際にゲームをやってみて、お金が集まつたりしてもマグネット環境・経済・社会が集まっているから、目標をたっせいに達成できないから、バランスが取れていないといけないことが分かりました。むずかしい！(小4/A・O記者)

WAW! 2017 国際女性会議に潜入！

外国の記者もたくさん

11月2日、東京プリンスホテルで日本政府(せいかう)により開催(かいさい)されたWAW! 2017国際女性会議(じょせいじょせいかいぎ)を取材しました。

WAW!にほんさんの外国人が来ています。来いた人は新聞記者の国際部長のかたや、AFP

支局長は、「オリンピックの人たちもオリンピック・パラリンピックのどのようなことに気をつけたいですか？」とよくほしつもんしました。

AFP支局長のくわだごども新聞が取材するばかりであります。世界をよくするためには、「協力」が必要だと思いました。

支局長(しょくよくちょう)のかたなどと一緒に、「けいざい」のパロメーターだけしかのびませんでしたが、協力すればなんだつてのびなってきました。世界をよくするためには、「協力」が必要だと思いました。

した。



世界がチャレンジ！



AFP通信社 東京支局のウルスラ・イジー支局長に取材しました

小4/S・K記者



北郷恭子(ほくごうきょうこ)室長(右)と松田さん(左)

今でも女性の方が差別(さべつ)されている国があるのです。いろんな国の人たちが男女平等(ひょうどう)にしようと考へているそうですね。わたしたちにも何ができるとははないのかな?と思いまして。ほかの国では女性たちが学校に行かせてあげられるように取り組んでいます。でも、まだだつたら今はめんどうく見えないという人たちに学校に行かせてあげられるように思っています。もし学校に行けなかつたらこれから楽しめないことがあります。もし学校に行けなかつたら、これからの楽しいことなくなくなっちゃうのかな?と思うてしまうかもしれません。女性の差別や学校に行かないという国がなくなりたいです。

外務省女性活躍推進室(がいむしょうじょせいかつやくすいしんしつ)に事前取材にうかがいました



差別がなくなるように

今でも女性の方が差別(さべつ)されている国があるのです。いろんな国の人たちが男女平等(ひょうどう)にしようと考へているそうですね。わたしたちにも何ができるとははないのかな?と思いまして。ほかの国では女性たちが学校に行かせてあげられるように取り組んでいます。でも、まだだつたら今はめんどうく見えないという人たちに学校に行かせてあげられるように思っています。もし学校に行けなかつたらこれから楽しめないことがあります。もし学校に行けなかつたら、これからの楽しいことなくなくなっちゃうのかな?と思うてしまうかもしれません。女性の差別や学校に行かないという国がなくなる

